

## 補題 2 とその証明 (3009/5/31)

ベクトル  $\mathbf{v} = \begin{pmatrix} v_1 \\ \vdots \\ v_\Omega \end{pmatrix}$  に対して  $\|\mathbf{v}\|_1 = \sum_{i=1}^{\Omega} |v_i|$  とする。また  $T_{i,j}$  の最小値を  $\mu > 0$  とする。任意の  $i, j$  について、 $T_{i,j} \geq \mu$  である。

**補題 2:**  $\mathbf{q}$  を  $\sum_{i=1}^{\Omega} q_i = 0$  を満たす任意のベクトルとする。このとき、

$$\|\mathbb{T}\mathbf{q}\|_1 \leq (1 - \Omega\mu) \|\mathbf{q}\|_1 \quad (1)$$

が成り立つ。

証明 :  $\mathbf{q}$  を固定し、 $I_- \cup I_+ = \{1, 2, \dots, \Omega\}$  と  $I_- \cap I_+ = \emptyset$  を満たす集合  $I_-$ ,  $I_+$  を、 $j \in I_-$  ならば  $q_j \leq 0$  であり、 $j \in I_+$  ならば  $q_j \geq 0$  であるように決める。このとき、 $\sum_{j \in I_-} |q_j| = \sum_{j \in I_+} |q_j| = \|\mathbf{q}\|_1 / 2$  が成り立つ。すると、

$$\begin{aligned} (\mathbb{T}\mathbf{q})_i &= \sum_{j=1}^{\Omega} T_{i,j} q_j = \sum_{j \in I_+} T_{i,j} |q_j| - \sum_{j \in I_-} T_{i,j} |q_j| = \sum_{j=1}^{\Omega} T_{i,j} |q_j| - 2 \sum_{j \in I_-} T_{i,j} |q_j| \\ &\leq \sum_{j=1}^{\Omega} T_{i,j} |q_j| - 2 \sum_{j \in I_-} \mu |q_j| = \sum_{j=1}^{\Omega} T_{i,j} |q_j| - \mu \|\mathbf{q}\|_1 \end{aligned} \quad (2)$$

が成り立つ。 $I_-$  と  $I_+$  の役割を入れ替えて同じ評価をすることで、

$$|(\mathbb{T}\mathbf{q})_i| \leq \sum_{j=1}^{\Omega} T_{i,j} |q_j| - \mu \|\mathbf{q}\|_1 \quad (3)$$

が得られる。ここで  $\sum_{i=1}^{\Omega} T_{i,j} = 1$  に注意して、これを  $i$  について足しあげれば、

$$\|\mathbb{T}\mathbf{q}\|_1 \leq \|\mathbf{q}\|_1 - \Omega\mu \|\mathbf{q}\|_1 = (1 - \Omega\mu) \|\mathbf{q}\|_1 \quad (4)$$

を得る。■